

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 6 月 30 日

福島県知事 内堀 雅雄 様



提出者

住所 福島県耶麻郡猪苗代町字佐渡島1057-3

氏名 東信建設工業株式会社

代表取締役 東條泰治

電話番号 0242-64-2134

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9条の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東信建設工業株式会社
事業場の所在地	福島県耶麻郡猪苗代町字佐渡島1057-3
計画期間	令和 8 年 4 月 1 日 から 令和 9 年 3 月 31 日

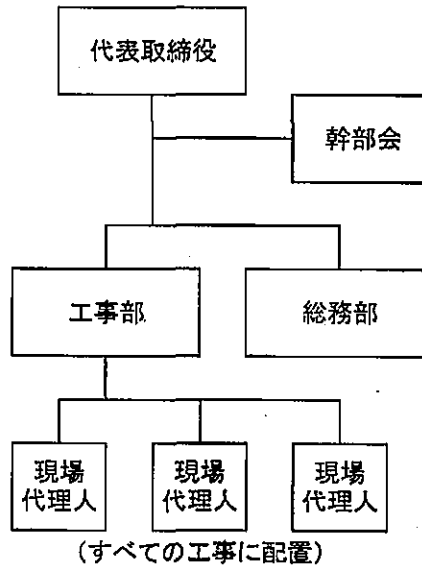
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	中分類 総合工事業 小分類 一般土木建築工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 8 億円(令和 7 年度実績)
③ 従業員数	51 人
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	建設現場 がれき類 木くず 廃プラ 建設汚泥 建設混合廃棄物 → 中間処理委託 (再生砕石) → 中間処理委託 (木質チップ) → 中間処理委託(燃料用チップ) → 最終処理委託(安定型埋立) → 中間処理委託 (改良土) → 中間処理委託 → 最終処理委託(管理型埋立)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役(廃棄物担当役員)
 幹部会:適正処理推進のための
 必要事項の検討、確認
 工事部(工事部長):処理に関する
 指導・確認
 総務部:処分委託料の支払、契約
 書類の管理
 現場代理人:各作業所における
 処理責任者として一切の管理



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【 前年度(7 年度)実績 】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	建設汚泥	建設混合廃棄物
排出量	4381.00 t	434.86 t	3.88 t	4.25 t	2.49 t

(これまでに実施した取組)

土木工事においては発生時の付着土砂の撤去や、解体工事での木くずと金属くずの分別などを実施した。

② 計画

【 目標 】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	建設汚泥	建設混合廃棄物
排出量	4000.00 t	400.00 t	4.00 t	4.00 t	2.00 t

(今後実施する予定の取組)

引き続き、発生時の分別作業により発生量の抑制を図る。

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

廃棄物量の減量化ともあわせ、付着土砂の撤去や分別を実施している。

② 計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

あらたな取組は予定していない。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【 前年度(7 年度)実績 】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	建設汚泥	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)					
	がれき類については産廃業許可を取得している子会社に全量を委託して処分し、再生骨材を購入して使用している。 /					
② 計画	【 目標 】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	建設汚泥	建設混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)					
	特に新たな取り組みを行う予定はない。 /					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【 前年度(7 年度)実績 】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	建設汚泥	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) がれき類については産廃業許可を取得している子会社に全量を委託している。 /					
② 計画	【 目標 】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	建設汚泥	建設混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特に新たな取り組みを行う予定はない。 /					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【 前年度(7 年度)実績 】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	建設汚泥	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)					
	特にない。✓					
② 計画	【 目標 】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	建設汚泥	建設混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)					
	特にない。✓					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【 前年度(7 年度)実績 】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	建設汚泥	建設混合廃棄物
	全処理依頼量	4361.00 t	434.86 t ✓	3.88 t ✓	4.25 t ✓	2.49 t ✓
	優良認定処理業者への処理依頼量	0 t	0 t	0.00 t	0 t	0.00 t
	再生利用業者への処理依頼量	4361.00 t	434.86 t ✓	3.88 t ✓	4.25 t ✓	2.49 t ✓
	認定熱回収業者への処理依頼量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者を行う業者への処理依頼量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)					
	がれき類については産廃業許可を取得している子会社に全量を委託している。					

(第5面)

② 計画	【 目標 】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	建設汚泥	建設混合廃棄物
	全処理依頼量	4000.00 t	400.00 t	4.00 t	4.00 t	2.00 t
	優良認定処理業者への処理依頼量	0 t	0 t	0 t		0 t
	再生利用業者への処理依頼量	4000.00 t	400.00 t	4.00 t	4.00 t	2.00 t
	認定熱回収業者への処理依頼量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者を行う業者への処理依頼量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)					
	特に新たな取り組みを行う予定はない。					
※事務処理欄						